

子供たちの安心と夢づくり！ ～子供たちの可能性を広げる子ども教室～

沖縄県浦添市

活動名

みやぎっ子教室

関係する学校

宮城小学校

活動区分		※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）						
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	学校支援地域本部	コーディネーター	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	放課後子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
		1人	15人	80日	有	有	有	有
放課後子供教室	実施場所				開始年度	放課後児童クラブとの連携		
	ワークスペース:コンピュータ室・みやぎっ子児童センター図書室				19年度	一体型		
コミュニティスクール	指定日				委員数	児童生徒数	学級数	

活動の概要・経緯

年間を通して数多くのプログラムを実施しており、それぞれのプログラムで子供たちの興味関心を引き出している。学校施設を利用してのパソコン教室や化学実験及び工作は、約30名が参加し、学校での授業とは違った角度から子供たちが楽しみながら学ぶことができ、またそれを学校での学習につなげている。

そのほかにも、約100名が参加する特別教室は、ハロウィンや星空観察、餅つき大会などを学校・放課後児童クラブ（学童）・児童センターと連携しながら実施しており、体験学習としても充実した活動となっている。また、毎週土曜日開催のバンド教室は、少人数（3～5名）ながら、参加する児童にとって、なくてはならない居場所となっており、卒業した先輩たちがボランティアとして協力、支援する環境がある。

安全面においては、「救急マニュアル」を作成し緊急時に適切な対応をとれるよう備えている。また、教室が始まる際の保護者への教室説明会で当該教室の活動内容や保険についての説明を毎年丁寧に行っているため、保護者も安心して子供たちを参加させられる場となっている。

特徴

【特徴的な活動内容】

- ★豊富なプログラム！ コンピューター、国際交流、工作、化学実験、星空観察、バンド 等
- ★様々な種類の活動を経験することにより子供たちの可能性を広げている。
- ★珍しいプログラムであるバンド教室では、まなびフェスタでの発表に向けて、目標を持ちながら真剣に練習に励んでいる。
- ★「あいさつはしっかり」「人のお話を聞きましょう」など、教室のルールがあり、それを守りながら活動している。
- 【実施に当たっての工夫】 ～体制づくり～ PTA（現役やOB）が中心となって、放課後子ども教室を運営している。
- ★定期的にミーティングを行うことにより、計画的に年間の活動を行うことができ、毎月末には次月の予定表「このゆびと～まれ」を児童全員と、放課後児童クラブ（学童）、児童センターに配布している。
- ★ミーティングの場で全員がアイデアを出し合えるから豊富な内容のプログラム計画が可能となっている。
- ★毎年、学校や保護者に向けた説明会をきちんと行うことにより、理解と協力を得るようにしている。
- ★各プログラムの学習アドバイザー（教育活動推進員）には卒業生や、現役高校教師、大学のサークル等できるだけ広い人材を活用し、そのサポートとして参加児童の保護者にボランティアとして関わってもらうことで、多くの協力者を得ることができている。

事業を実施して

～教室立ち上げからこれまで～

元気な子はもちろんだが、学校になじめない子、人との関わりが苦手な子のためにも居場所を作りたいという思いと、放課後に安心して過ごせる場を作りたいという思いから地域子ども教室として、当時のPTAが中心になり教室は立ち上げられた。その思いは放課後子ども教室へも継続され、教室では「ここに来たら自分は認められる」そう感じる子もいる。参加するそれぞれの子供のニーズに合わせたプログラムをつくるうちに、豊富なプログラムができあがっていった。

～参加者の声～

- 子供たちが、親や教師以外のいろんな大人と関わっていくことで、人との関わり方やマナーが身についていくのを実感した。
- 来年はこんなものもいいのでは？とアイデアや企画を提案でき、取り入れてくれるので、ボランティアのやりがいがある。
- 興味ややる気のある子は誰でも、いつからでも参加できる方針で行っているのだから、子供たちにとってはなくてはならない居場所となっているように感じる。
- 子供たちを純粋に楽しませるプログラムから、発表会に向けて真剣に継続して努力をさせるプログラムまで、様々な角度から子供たちの可能性を広げる場となっている。

その他

【学習支援・パソコン教室】

元IT指導員が指導者となり、学年別・教科別にそろえられている学習ソフトを利用して、パソコン教室で学習支援を行っている。

【学習支援】

H26年度学校支援地域本部事業で立ち上げた宿題センターをH27年度からは宿題教室として、放課後子ども教室へ移行し実施している。それぞれの宿題プリントやノートを持ち寄りながら、わからないところを指導者に聞いている。また、宿題教室の出欠状況やプリント・ノートの実施状況を各クラス担任へも報告し、教室と学校との連携も図っている。

【企業・NPOとの連携】

H27年度は、製麺協同組合の出前講座を利用し、夏休みの体験活動として実施している。また、毎年実施している放課後子ども教室・児童センター・放課後児童クラブ（学童）との合同プログラム「餅つき大会」では、子育てNPO団体「きぼうの森ネットワーク」とも連携している。



理科室を利用した学習支援



学校のパソコン教室で勉強もさくさく